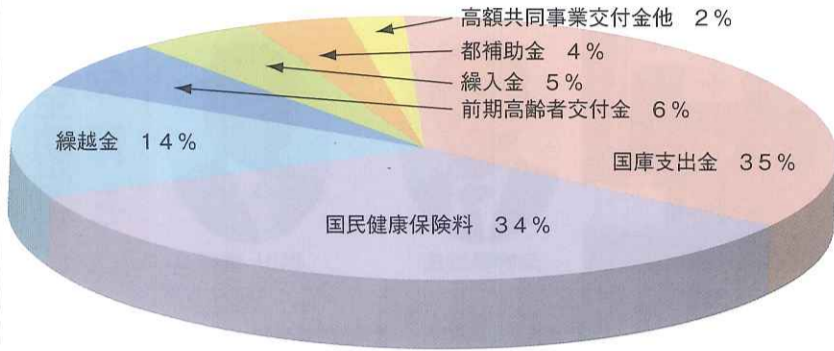


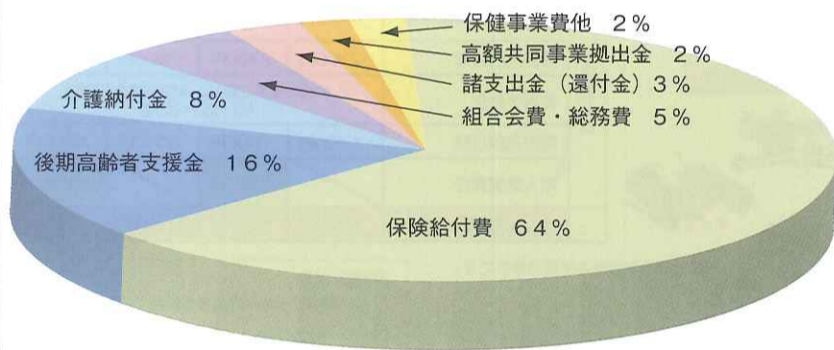
平成24年度 事業報告・決算等を承認

平成24年度 歳入歳出決算

歳 入	(千円)	
国庫支出金	1,102,589	35%
国民健康保険料	1,077,140	34%
繰越金	432,202	14%
前期高齢者交付金	206,409	6%
繰入金	170,000	5%
都補助金	124,587	4%
高額共同事業交付金他	62,117	2%
歳入合計	3,175,044	100%



歳 出	(千円)	
保険給付費	1,768,451	64%
後期高齢者支援金	453,288	16%
介護納付金	222,118	8%
組合会費・総務費	141,155	5%
諸支出金(還付金)	68,497	3%
高額共同事業拠出金	66,464	2%
保健事業費他	51,383	2%
歳出合計	2,771,356	100%



歳入歳出差引	403,690千円
--------	-----------

厳しい決算 となりました…(ﾉω｡)

建設職能国保組合第54回臨時組合会

＊事業報告
被保険者数は、高齢

東京建設職能国保組合は、7月26日午後2時から建設職能会館において、第54回臨時組合会を開催しました。組合会議員・理事・監事の出席のもと、平成24年度事業報告・歳入歳出決算報告・決算剰余金の処分と報告事項について審議され、いずれも原案通り可決承認されました。

単年度収支

2億円の赤字

新規事業として始まった東京ディズニーリゾート利用助成事業

化や長引く経済不況等による影響で引き続き減少しています。にも関わらず、医療費の上昇は続いている為、財政は厳しくなるばかり…。そんな医療費の削減手段として、診療報酬明細書の点検等を積極的且つ効率的に実施し、医療費の適正化を図りました。

積立金の取り崩しにより遅らせてきた保険

は、予算人数を上回る利用がありました。平成24年度決算では、4億3千万円の剰余金が出たものの、積立金を取り崩した分が歳入に含まれているため、単年度収支では約2億円の赤字となりました。依然として、厳しい財政状況が続いています。

剰余金は、全額を平成25年度へ繰り越すことが承認されました。

料の値上げも、今後の被保険者の高齢化や、それに伴う医療費の自然増と併せて考えると、保険料の値上げが避けられない状況が見えてきます。

◆国保組合加入者数

組合員	3,759人
家族	5,082人
後期高齢者組合員	184人
計	9,025人

(6月末現在)

平成24年度 事業報告概要

被保険者数 (年間平均)

組合員	3,902人
家族	5,294人
合計	9,196人
前年比	562人減

保健事業

- ・特定健診受診者1,385人(受診率23%)
- ・特定保健指導9人(同4%)
- ・人間ドック受診者507人
- ・インフルエンザ補助金1,070人
- ・保養所助成金246人
- ・ディズニーリゾート助成金645人
- ・健康家庭表彰225世帯うち3年以上無受診の78世帯に2万円1年間無受診世帯に1万円のギフト券を贈呈
- ・出産した54人に月刊誌「赤ちゃん和妈妈」を1年間贈呈
- ・常備薬を全世帯に、医療機関に受診した世帯に医療費のお知らせを年2回送付
- ・ジェネリック差額通知を年3回実施

補助金の状況

国庫・都補助金は療養の給付、後期高齢者支援金など約24億1千万円に対し約50%にあたる12億円を収入

保険給付の状況

- ・高額療養費 2,024件
 - ・出産育児一時金 45件
 - ・出産手当金 1件
 - ・葬祭費 25件
 - ・傷病手当金 140件
 - ・結精給付金 193件
 - ・移送費 2件
- 収支に一番大きな影響を与える医療費は1人当たり年間費用額で昨年度より9,558円上がり23万8,504円でした

国民健康保険料

支部と組合員の皆様のご協力により100%収納することができました。



夏休みは
ディズニー
リゾートへ
出かけよう!

保険料平成26年度値上げ不可避

補助金の算定方法の見直しによる削減や、医療費、後期支援金、介護納付金などの伸びで、収支差は開くばかりで、これらを補うため積立金を取り崩すなどして保険料を7年間据え置いて参りましたが、積立金からの繰入れも限界に近く、平成26年度には保険料値上げが必至の情勢です。単年度赤字額を一世帯当たりで単純計算すると、月額4千円以上という驚愕の数字となりますが、経費の節減、医療費の削減、事業の見直し等により、圧縮と適正な事業運営に努めてまいりますので、財政健全化のため組合員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

異動の届出は14日以内に
保険料は納期内に納めましょう